



2023年 4月 1日

株式会社 IHIプラント
社 長 青木 亮治

2023年度 安全衛生・健康管理方針

I. 基本方針

一人ひとりが『安全・健康最優先』という原点に立ち返り、部門トップの積極的な関与のもと、安全で安心して働ける職場を作り上げる。

II. 管理目標

1.【安全衛生管理】

- ・ 休業災害 : ゼロ
- ・ 連続無災害時間 : 200万時間以上
- ・ 熱中症災害 : ゼロ
- ・ 全災害度数率 : 0.8未満

2.【健康管理】

- ・ 健康度調査「期待役割の理解」4.0以上、「睡眠・運動・食事」0.1ポイントアップ(前年度比)

III. 重点施策

【安全衛生管理】

「すべての災害は防ぐことができる」との信念のもと、全員参加で「災害ゼロ」の実現を目指す。

1. 安全衛生管理に関するコミュニケーション(指示・伝達・確認等)の見直し

キーワード : 「声の出る風通しのよい職場づくり」

- (1) 関係協力会社含め、なんでも話し合える現場風土づくりを行い、自身および仲間の安全確保への意識向上を図る。
- (2) 本社部門と現地の積極的なコミュニケーションにより、現場の潜在リスクの抽出・共有を図り、それぞれの現場状況を踏まえた施策を現場メンバー自ら考え、展開する。

2. 「IHIグループ安全基本原則」に該当する災害の撲滅

キーワード : 「落ちるな, 落とすな」「ノータッチに挑戦」

- (1) 高所作業における安全帯の適切かつ確実な使用を徹底するとともに、脚立を使用した作業やトラック荷台上での荷降し作業などの中低所作業において、安定した昇降設備及び作業スペースを確保し、転落災害の撲滅を図る。
- (2) 高所における安定した資材仮置き、落下防止対策を徹底するとともに、日々の作業調整により上下作業を回避し、落下物災害の撲滅を図る。
- (3) 「ノータッチに挑戦」を合言葉に、重量物運搬・吊上げ時に”直接手を触れない”, ”危険な位置に立たない”を徹底し挟まれ災害の撲滅を図る。

3. 危険性感受性を高める安全施策の充実

キーワード : ビジュアルな教材活用で危険感受性を高める

- (1) 安全映像教材や災害3D動画などを活用して危険感受性を高め、日々の危険予知・リスクアセスにつなげて危険源の把握・摘み取りにつなげる。特に新規入構者、未熟練労働者への指導・サポートに配慮する。
- (2) 地域特性や気候変動も加味した熱中症への注意喚起と対策を実施する。

4. 建設部門における安全管理体制の強化

キーワード : 協力会社とともに、レベルアップ

- (1) IPCと協力会社の店社安全管理部門のネットワークを構築し、協力会社とともに現地安全管理レベルの向上への指導・支援を図る。
- (2) 新規入構者・未熟練労働者による災害発生を防ぐために、若葉マークなどで見える化を実施するとともに、周囲の作業や管理監督者が配慮して指導できるような雰囲気づくりを行う。

【健康管理】

多様な人材の活躍のため、すべての基盤である「心身の健康」の観点から、「一人ひとりの活力向上」と「すべての人が対話を通じて働く喜びを感じられる職場づくり」に攻守両面で取り組む。

1. 個人と組織の活力向上

- (1) 個人の活力向上(一人ひとりの主体的な健康づくりの推進)
様々な変化に柔軟に適応していくために必要な健康(睡眠・運動・食事等)に関する活動を強化する。
- (2) 職場の活力向上(いきいきと働く職場づくりの推進)
互いに尊重しながら多様な人材が活躍できる職場風土をつくるため、職場と関係部門の連携を強化し、対話などのウェルビーイング活動を推進する。

2. 環境変化に伴う心身の不調に速やかに対応できる体制の整備

- (1) 健康リスクが高い個人、職場への支援・対策強化
- (2) 国内外現地に対する切れ目ない支援の体制の整備

ご安全に！ ご健康に！